

▼トロペロン錠・▼細粒 [内]

【重要度】 【一般製剤名】チミペロン timiperone 【分類】抗精神病剤 [ブチロフェノン系]

【単位】▼0.5mg・▼1mg・▼3mg錠・▼1%細粒

【常用量】開始量0.5～3mg/日、徐々に増量し3～12mg/日

【用法】分割投与

【透析患者への投与方法】おそらく減量の必要はない (5)

【保存期 CKD 患者への投与方法】おそらく減量の必要はない (5)

【特徴】ブチロフェノン系抗精神病薬。ペルフェナジンと比較して抗精神病作用は同等で、安全性に優れる (Takahashi R, et al: J Int Med Res 10: 257-267, 1982) ハロペリドールより効果に優れる (Kariya T, et al: J Int Med Res 11: 66-77, 1983) clozapamine と比較して効果や安全性は同等か優れる (Nakazawa T, et al: J Int Med Res 11: 247-258, 1983) スルピリドより副作用が多い (Nishikawa T, et al: Biol Psychiatry 25: 861-866, 1989)

【主な副作用・毒性】悪性症候群、麻痺性イレウス、遅発性ジスキネジア、血球減少、静脈血栓症、頻脈、SIADH、アカシジア、パーキンソン症候群、視調節障害、かすみ目、発疹、消化器症状、高プロラクチン血症、乳房痛、精神神経系症状、脱力、浮腫など

【F】資料なし (1)

【tmax】3.3hr (1)

【代謝】3種の代謝物が同定 [サル] (1) 代謝物は薬効には関与していないと思われる (1) カルボニル基の還元により代謝 (Shimoda K, et al: Pharmacol Toxicol 83: 164-8, 1998)

【排泄】尿中回収率36% [ラット, iv, 72hr まで] (1)

【t1/2】5.9hr (1)

【蛋白結合率】95%以上 (1)

【Vd】資料なし (1)

【MW】397.51

【透析性】資料なし (1) おそらく除去されない (5)

【O/W 係数】資料なし (1) 【薬物動態】線形であるが、血中濃度の個体差は4倍 (Shimoda K, et al: Psychiatry Clin Neurosci 52: 535-40, 1998)

【相互作用】アドレナリンの血圧反転 (1)

【更新日】20170123

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院でいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。